



2018年10月

【 閉幕リリース 】

第14回モスクワ・ミラノサローネ

Salone del Mobile.Milano Moscow 大盛況で閉幕！

2018年度のサローネ・デル・モービレ・ミラノ・モスクワ（以下、モスクワ・ミラノサローネ）は、大盛況のうちに終了。来場者の期待を裏切らず、イタリアに大きな関心を持つ戦略的市場に投資し続けてきた出展企業にとって十分な結果をもたらしました。

第14回 モスクワ・ミラノサローネは、モスクワのクロッカス・エキスポ国際展示場で10月13日（土）に閉幕、ロシアでの家具市場を牽引する見本市として、期待を超えて業界の需要に応えました。

業界関係の来場者は19,542人を集客し前年比9.1%増、メディア関係者は前年比32.3%増を記録しました。

ミラノサローネのプレジデント、クラウディオ・ルーティ氏のコメント：

「我々は確信を持って投資し、その結果として14回目となるモスクワ・ミラノサローネを好成績で終えることができました。ロシア市場は我々が全力を尽くしリーダーシップの地位を維持することを望んでいます。ミラノと同じく、企業がアイデンティティを十分に表現できるよう優れたデザインの製品を紹介する新しいディスプレイフォーマットを採用し、優れたデザインを高く評価した熟練の専門家との接点を広げました。」

イタリア大使館 貿易促進部、ICEによって厳選され招待された170名の業界関係者は会期中、4,400件のB2B ミーティングに参加しました。この見本市は製品や出展企業の理解をより深めるための必須な場として君臨し続けています。

在モスクワ・イタリア大使館はサローネ開催中、サローネを支援すべく重要な役割を果たしました。「トリプル・アイ（I）：イタリアン・イマジナティブ・イノヴェーターズ・イベント Italian Imaginative Innovators event」というイベントが開催され、行政レベルでの関心の強さが見受けられました。

ミラノサローネ主催者である FLA Eventi社の社長、エマヌエーレ・オルジーノ氏のコメント：

「閉幕したばかりの今回、メイド・イン・イタリアの家具がロシア市場に改めて認められていることが確認でき、これは当社のビジネスが成長する大きなチャンスであることを実感しました。出展者の満足度、行政の大いなる関心、イタリア大使館 貿易促進部 ICE の全面的な支援は、我々の家具の主要なマーケットの1つであるロシアに引き続き投資することを奨励する全ての要素を満たしている、と言えます。」



第14回 モスクワ・サローネサテリテも同時開催され、36人の若手デザイナーがロシアと旧ソ連共和国から参加し、ロシアの伝統とスピリットと共に創造性、リサーチ、革新に満ちた作品を発表しました。受賞者のAnna Strupinskaia、Dina Akkubekova、Ivan Basovは、2019年4月9日から14日にミラノで開催されるサローネサテリテに招待されます。

人気のマスタークラスは、イタリアの建築・デザイン界をリードする3人が、デザインに関する問題を提起し、「理想の暮らし」について個人的な考えを参加者と共有しました。フェルーチョ・ラヴィアーニ、ファビオ・ノヴェンブレ、マリオ・ベリーニは、それぞれの独自の創造的アプローチとグローバルなデザイン体験を語り、メイド・イン・イタリアの価値を再認識させ、参加者を新しい発想の世界へと導きました。また、「ワーク・トーク」では、ロシアのインテリアデザイナーであるカテリーナ・ラシマノーヴァの活気に満ちた革新的アプローチに、参加者は大いに盛り上がりました。

問い合わせ先:

Salone del Mobile. Milano Japan PR
Yuki Yamamoto 山本幸 - yuki@milanosalone.com